

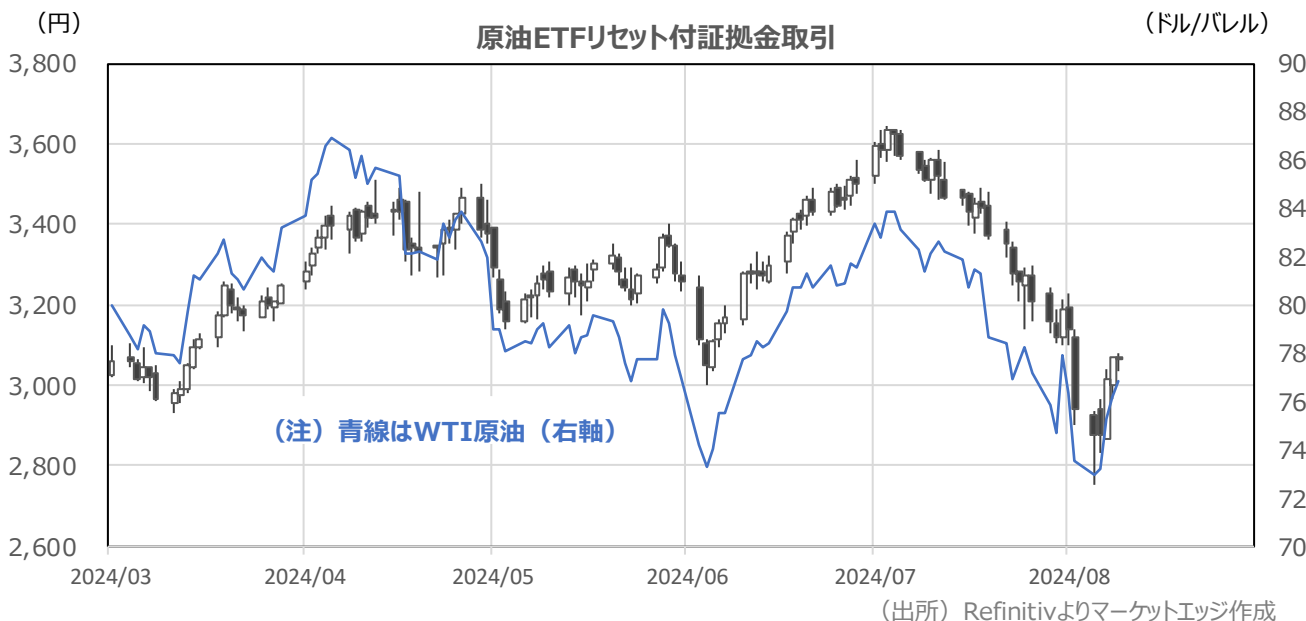
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/08/13号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



株価と連動、半年ぶりの安値更新後に反発

NY原油先物相場は、1バレル=71.70ドルまで値下がりして2月5日以来の安値を更新した後、76ドル台後半まで切り返す展開になった。週前半はグローバルなリスクオフ環境を背景に原油も急落する展開になった。投資家のリスク回避姿勢が強まる中、持高調整の動きが最優先された。しかし、その後は株価の切り返しを眺めながら安値修正が進んだ。また、中東情勢を巡る緊張感が高まっていることもポジティブ。

7月30～31日の日米金融政策会合を経て、円キャリートレードの巻き戻しが主因の一つとみられるリスクオフ化が進んだことが、原油相場も約半年ぶりの安値圏まで押し下げた。株式市場に留まらずコモディティ市場でも持高圧縮が最優先されている。ただし、日本銀行の内田副総裁が金融市場の不安定な状況での利上げに慎重姿勢を示すと、マーケット環境全体の鎮静化が促され、原油相場も安値から大きく切り返している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（8月2日時点）は、原油が前週373万バレル減、ガソリンが134万バレル増、石油精製品が95万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中東情勢次第で一時上昇リスクも、需要不安で戻り売り優勢か

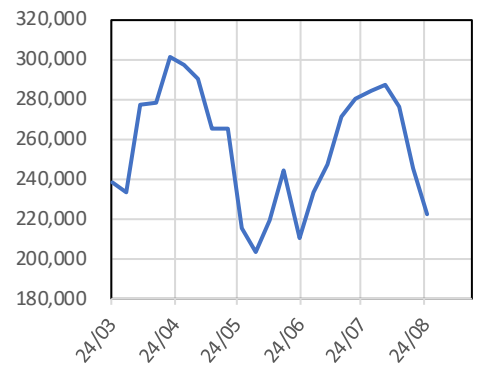
中東情勢によって一時的な上振れリスクを抱えるが、戻り売り優勢の展開が続く見通し。中東では7月30日にイスラエルがイラン訪問中のハマス幹部を暗殺したことを巡り、イランの報復攻撃が時間の問題とみられている。ヒズボラやフーシ派の活動も活発化しており、実際にイランとイスラエルの間で軍事衝突が発生すると、80ドルの節目に迫る可能性は想定しておく必要がある。

しかし、4月の軍事衝突の経験からは、全面戦争に発展しない限りは短期上昇リスクに留まる。イラン産原油の生産や流通に大きな混乱が生じなければ、地政学リスクの織り込みに伴う上昇局面は売り場になる可能性が高い。

足元の需給はひっ迫化しており、米原油在庫も減少傾向が維持されている。WTI原油の逆サマ（期近高・期先安）を強化する動きがみられることも、短期需給の引き締まりを示唆している。

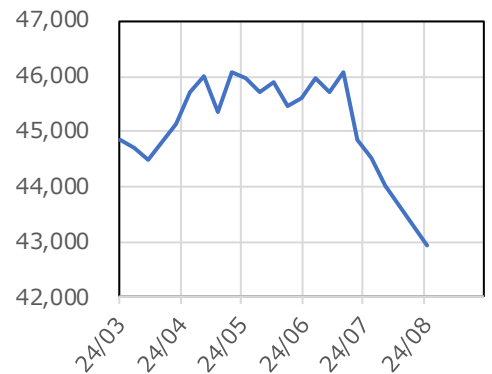
ただし、マーケットの関心は中国や米国の景気減速懸念にシフトしている。8月15日に米中両国で主要経済指標の発表が集中するため、ここで改めて景気減速懸念を織り込むような動きの有無が注目される。一方、景気減速懸念の緩和が進めば、これまでの値下がりには正当性を失うことになり、安値修正の必要性が高まる。需要不安がどの程度まで現実化しているのかに左右される地合になる見通し。8月12日に石油輸出国機構（OPEC）、13日に国際エネルギー機関（IEA）が最新の月報を公表するため、そこでの需要見通しの修正状況にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



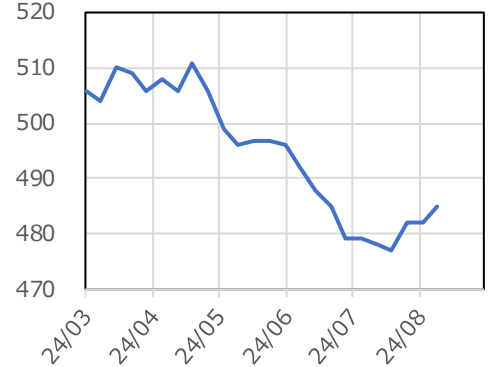
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

